



東京亀城会々報

あい見よ島海千鶴
虚に聟むる吾人の姿
黙示に学びてわらの健児
六百並んで高きに向ふ



第十七号会報を委員の皆様にお届け出来ました事を喜ぶ
と同時に、玉稿をお寄せ下さった皆様並びに応募をご出稿の上、会の運営にご支援下さい。

東京亀城会会長

内山 敬司

十七号発行の御挨拶

最高の流れにうるほふ里の
学び舎となりの希望はぢや
明るいや
清けしや
我らの園
我らの門
あしたに夕べに集ま
手を引いておかに壁で
愛ありてある人とならん

責任を感じます。

昨年、再興されて三十一年
目の総会を東京亀城会の壮年
期第一歩と位置づけ、制度に
修正を加え、組織を拡充して
きました。今年の活動はこれ
を定着させ、壮年期の歩む方
向を見定め、確実なものにす
る大切な年であります。年に

七年の星霜を迎えるました。戦
時中は活動を中断されました
が、昭和四十年、母校の基金
要請を受けて再興されてから
今総会は三十二回目の総会と
なっています。会の創立と再興に
ご尽力された故梅津八重藏大
先輩(東京帝大卒・読売新聞
社重役)はじめ多くの先覚の
皆様の情熱と思いが脈々と続
いていることに大きな誇りと

責任を感じます。

昨年、再興されて三十一年

目の総会を東京亀城会の壮年

期第一歩と位置づけ、制度に

修正を加え、組織を拡充して

きました。今年の活動はこれ

を定着させ、壮年期の歩む方

向を見定め、確実なものにす

る大切な年であります。年に

七年の星霜を迎えるました。戦

時中は活動を中断されました

が、昭和四十年、母校の基金

要請を受けて再興されてから

今総会は三十二回目の総会と

なっています。会の創立と再興に

ご尽力された故梅津八重藏大

先輩(東京帝大卒・読売新聞

社重役)はじめ多くの先覚の

皆様の情熱と思いが脈々と続

いていることに大きな誇りと

責任を感じます。

昨年、再興されて三十一年

目の総会を東京亀城会の壮年

期第一歩と位置づけ、制度に

修正を加え、組織を拡充して

きました。今年の活動はこれ

を定着させ、壮年期の歩む方

向を見定め、確実なものにす

る大切な年であります。年に

七年の星霜を迎えるました。戦

時中は活動を中断されました

が、昭和四十年、母校の基金

要請を受けて再興されてから

今総会は三十二回目の総会と

なっています。会の創立と再興に

ご尽力された故梅津八重藏大

先輩(東京帝大卒・読売新聞

社重役)はじめ多くの先覚の

皆様の情熱と思いが脈々と続

いていることに大きな誇りと

責任を感じます。

昨年、再興されて三十一年

目の総会を東京亀城会の壮年

期第一歩と位置づけ、制度に

修正を加え、組織を拡充して

きました。今年の活動はこれ

を定着させ、壮年期の歩む方

向を見定め、確実なものにす

る大切な年であります。年に

七年の星霜を迎えるました。戦

時中は活動を中断されました

が、昭和四十年、母校の基金

要請を受けて再興されてから

今総会は三十二回目の総会と

なっています。会の創立と再興に

ご尽力された故梅津八重藏大

先輩(東京帝大卒・読売新聞

社重役)はじめ多くの先覚の

皆様の情熱と思いが脈々と続

いていることに大きな誇りと

責任を感じます。

昨年、再興されて三十一年

目の総会を東京亀城会の壮年

期第一歩と位置づけ、制度に

修正を加え、組織を拡充して

きました。今年の活動はこれ

を定着させ、壮年期の歩む方

向を見定め、確実なものにす

る大切な年であります。年に

七年の星霜を迎えるました。戦

時中は活動を中断されました

が、昭和四十年、母校の基金

要請を受けて再興されてから

今総会は三十二回目の総会と

なっています。会の創立と再興に

ご尽力された故梅津八重藏大

先輩(東京帝大卒・読売新聞

社重役)はじめ多くの先覚の

皆様の情熱と思いが脈々と続

いていることに大きな誇りと

責任を感じます。

昨年、再興されて三十一年

目の総会を東京亀城会の壮年

期第一歩と位置づけ、制度に

修正を加え、組織を拡充して

きました。今年の活動はこれ

を定着させ、壮年期の歩む方

向を見定め、確実なものにす

る大切な年であります。年に

七年の星霜を迎えるました。戦

時中は活動を中断されました

が、昭和四十年、母校の基金

要請を受けて再興されてから

今総会は三十二回目の総会と

なっています。会の創立と再興に

ご尽力された故梅津八重藏大

先輩(東京帝大卒・読売新聞

社重役)はじめ多くの先覚の

皆様の情熱と思いが脈々と続

いていることに大きな誇りと

責任を感じます。

昨年、再興されて三十一年

目の総会を東京亀城会の壮年

期第一歩と位置づけ、制度に

修正を加え、組織を拡充して

きました。今年の活動はこれ

を定着させ、壮年期の歩む方

向を見定め、確実なものにす

る大切な年であります。年に

七年の星霜を迎えるました。戦

時中は活動を中断されました

が、昭和四十年、母校の基金

要請を受けて再興されてから

今総会は三十二回目の総会と

なっています。会の創立と再興に

ご尽力された故梅津八重藏大

先輩(東京帝大卒・読売新聞

社重役)はじめ多くの先覚の

皆様の情熱と思いが脈々と続

いていることに大きな誇りと

責任を感じます。

昨年、再興されて三十一年

目の総会を東京亀城会の壮年

期第一歩と位置づけ、制度に

修正を加え、組織を拡充して

きました。今年の活動はこれ

を定着させ、壮年期の歩む方

向を見定め、確実なものにす

る大切な年であります。年に

七年の星霜を迎えるました。戦

時中は活動を中断されました

が、昭和四十年、母校の基金

要請を受けて再興されてから

今総会は三十二回目の総会と

なっています。会の創立と再興に

ご尽力された故梅津八重藏大

先輩(東京帝大卒・読売新聞

社重役)はじめ多くの先覚の

皆様の情熱と思いが脈々と続

いていることに大きな誇りと

責任を感じます。

昨年、再興されて三十一年

目の総会を東京亀城会の壮年

期第一歩と位置づけ、制度に

修正を加え、組織を拡充して

きました。今年の活動はこれ

を定着させ、壮年期の歩む方

向を見定め、確実なものにす

る大切な年であります。年に

七年の星霜を迎えるました。戦

時中は活動を中断されました

が、昭和四十年、母校の基金

要請を受けて再興されてから

今総会は三十二回目の総会と

なっています。会の創立と再興に

ご尽力された故梅津八重藏大

先輩(東京帝大卒・読売新聞

社重役)はじめ多くの先覚の

皆様の情熱と思いが脈々と続

いていることに大きな誇りと

責任を感じます。

昨年、再興されて三十一年

目の総会を東京亀城会の壮年

期第一歩と位置づけ、制度に

修正を加え、組織を拡充して

きました。今年の活動はこれ

を定着させ、壮年期の歩む方

向を見定め、確実なものにす

る大切な年であります。年に

七年の星霜を迎えるました。戦

時中は活動を中断されました

が、昭和四十年、母校の基金

要請を受けて再興されてから

今総会は三十二回目の総会と

なっています。会の創立と再興に

ご尽力された故梅津八重藏大

先輩(東京帝大卒・読売新聞

社重役)はじめ多くの先覚の

皆様の情熱と思いが脈々と続

いていることに大きな誇りと

責任を感じます。

昨年、再興されて三十一年



平成8年度の活動報告

明るく、活力ある会運営をめざして――

副会長 佐藤 郁雄

この事については、前田・
○会員へのお願い

佐藤の両常任理事の、努力に
敬意を表わしたい。

平成8年度総会の案内は千
九百人に送付し、出席者は一

東京亀城会会則

平成8年11月1日改正

第一条(名称) 本会は東京亀城会といふ。

第二条(事務所) 本会の事務所を東京都内におく。

第三条(目的) 本会は、山形県立酒田高等学校、亀城同窓会と連絡を密にし母校の後援

と会員相互の親睦を図ることを目的とする。

本会の会員は、旧山形県立酒田中学校、旧酒田第一高等学校、旧酒田高等

学校、及び酒田高等学校に在学した者で、東京都内並びに関東一円に居

住して、入会を希望する者とする。

第五条(事業) 本会は次の事業を行つ。

(一) 総会

(二) 会報の発行

(三) その他

第六条(役員会) 本会の役員会は、会長、副会長、及び理事で構成し、必要ある時会長がこれ

れを招集し、開催する。

第七条(役員及び監事) 本会に次の役員及び監事を置き、任期を二年とする。但し再任を妨

げない。

(一) 会長 一名 会員中より役員会において推薦し、総会において選出

(二) 副会長 五名以内 会員中より役員会において推薦し、総会において選出

(三) 理事 会員中より若干名(各卒業年次より)会長が委嘱する。

(四) 常任理事 理事中より五名程度、会長が委嘱する。

(五) 監事 二名 会員中より総会において選出する。

必要ある時は顧問、相談役を役員会の議を得、総会において推薦する

ことが出来る。

第八条(役員及び監事の任務)

会長は会務を総理する。

副会長は会長を補佐し、会長に事故ある時は会長の代理をする。会長

の指名を受けた副会長は会務執行の総括を行う。

理事は会務を審議し、常任理事を補佐して、会員相互の連絡に当たる。

常任理事は会務を執行し次の事務を分担する。必要に応じて補佐を置くことができる。

監事は会務の連絡、議事録の作成、本部との連絡及び名簿管理

に、次回の再会を誓い合い幕

を閉じた。

最後に次回総会の当番年次

の尺八演奏も華をそえた。

最後に次回総会の当番年次

の尺八演奏も華をそえた。

最後に次回総会の当番年次

の尺八演奏も華をそえた。

最後に次回総会の当番年次

の尺八演奏も華をそえた。

四五人であった。出席率は約8%で、決して満足できる状況ではありません。執行部はさらに明るく、活力ある会の運営に努め、楽しく、魅力ある総会・懇親会を企画してまいります。

です。同期、友人、知人に声を掛け合い、多くの賛美が総会に期待します。

◎ 東京亀城会役員

任期 II 平成十年度総会まで

○会長

内山 敬司 (15回卒)

後藤 健 (23回卒)

高橋 重雄 (24回卒)

村上義八郎 (24回卒)

根上 茂三 (24回卒)

金湖 東吉 (25回卒)

五十嵐儀勇 (25回卒)

佐藤 孝行 (26回卒)

大澤 明幸 (52回卒)

斎藤 淳 (51回卒)

八木チエミ (50回卒)

菊池 浩俊 (48回卒)

加藤 将展 (48回卒)

田井 進 (47回卒)

高橋 當昭 (46回卒)

門崎 敬一 (44回卒)

高橋 喜吉 (42回卒)

伊藤 康夫 (41回卒)

佐藤 敏明 (41回卒)

井上 兼也 (40回卒)

佐藤 吉修 (39回卒)

佐藤 亮也 (40回卒)

佐藤 和紀 (43回卒)

佐藤 喜宮 (42回卒)

佐藤 伸也 (40回卒)

佐藤 亮也 (40回卒)

佐藤 伸也 (40回卒)

会員へのお願い

平成8年度総会の案内は千

九百人に送付し、出席者は一

が再興され三十二回目の総

会があり、一四五名の会員と

二十二名の来賓の総勢二六六

名が出席した。来賓としては

酒田東高校校長植松芳平様は

はじめ郷里関係の友好同窓会の

代表が顔を揃えた。総会は大川龍太郎(21回卒)執行委員長の挨拶を始まり、会員報告・会計報告・会計監査報告・会員登録等の改正及び役員・監事の選出がいづれも原案どおり承認された。

第一回役員会

平成8年5月11日(土)、

庄内館で役員会が開催された。

議長には佐藤理事が就任した。

佐藤理事が就任した。

平成8年5月11日(土)、

庄内館で役員会が開催された。

平成8年5月11日(土)、
庄内館で役員会が開催された。二十九名の役員が新年の夢と抱負を語りながら、東京亀城会の一層の発展を祈った。

また勇退された阿部鉄一事務長へ謝意を表わすことが全員一致で承認された。

平成8年5月11日(土)、
庄内館で開催された。会員より選考委員会の原案が発表され、会員長・副会長・監事が役員会の推薦候補として承認された。

平成8年5月11日(土)、
庄内館で開催された。会員より選考委員会の原案が発表され、会員長・副会長・監事が役員会の推荐候補として承認された。

平成8年5月11日(土)、
庄内館で開

母校の現況報告



教頭 富澤 卓

尹

平成九年度入試結果 今春の進学状況

日本水工設計株式会社

医療法人
西佐倉病院
社団愛慈会

クラス、男・三九四、女三二

七)、教職員総数・五八名で

始まりました。

山形県では「第四次教育振興計画・感性豊かな教育と文化の創造」の実施三年目で、

昨年までの「個性豊かな高校づくり促進事業」を率先、今

度、中道邦彦教頭先生の後任として、母校酒東勤務を拝命し、過日着いたしま

した。着任以来、小松久雄同窓会の皆様方から何かとご指導致びをいただき、心から感謝申し上げます。何分、微力でありますので皆様のご支援、ご指導をいたきなが

ら誠心誠意努力する所存でありますので、よろしくお願ひ申上ります。学校の現況を簡単に報告いたします。

新教育課程実施後初の入試であった今春の進学状況(現役)は、国公立大学の合格者一四三名(合格率・七二・四%)、浪人は僅か三名の好結果でした。

新年度は四月八日の入学式で新生二四〇名(男・一一八、女・二四)を迎えて、生徒総数・七二名(各学年六

%)、私立大学の合格者八九名(合格率・七二・四%)、

浪人は僅か三名の好結果で

いた。

この度、中道邦彦教頭先生の後任として、母校酒東勤務を拝命し、過日着いたしま

した。着任以来、小松久雄同窓会の皆様方から何かとご指導致びをいたきなが

ら誠心誠意努力する所存でありますので、よろしくお願ひ申上ります。学校の現況を簡単に報告いたします。

新教育課程実施後初の入試であった今春の進学状況(現

役)は、国公立大学の合格者一四三名(合格率・七二・四%)、

浪人は僅か三名の好結果で

いた。

この度、中道邦彦教頭先生の後任として、母校酒東勤務を拝命し、過日着いたしま

した。着任以来、小松久雄同窓会の皆様方から何かとご指導致びをいたきなが

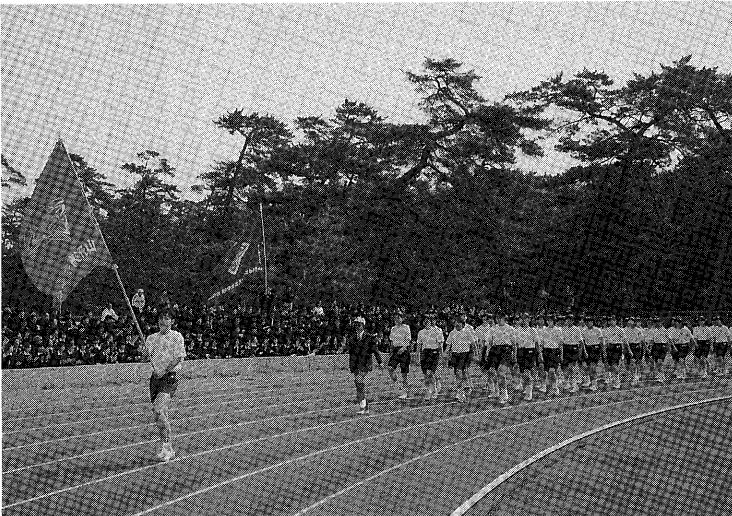
ら誠心誠意努力する所存でありますので、よろしくお願ひ申上ります。学校の現況を簡単に報告いたします。

新教育課程実施後初の入試であった今春の進学状況(現

役)は、国公立大学の合格者一四三名(合格率・七二・四%)、

浪人は僅か三名の好結果で

いた。



各年の進学講演会・学習合宿・特別講座・小論文対策講演会・大学見学ツアー、などなど、節目に多彩な企画を織りこみ、豊かな人間性を養い、節度ある生活を送るための気力・体力の充実、積極的学習態度の育成と学力の充実、将来の生き方を見通した高い進路志望へのチャレンジ精神の高揚を図り、地域統続を継承させ、教育目標を達成しました。七月の球技大会、八月の運動会、二月の柔道大会も若い熱気まさに盛り上がり、高い思い出を創り出すものと期待されます。

地区高校総体では全ての運

選手会

選手の行進・応援

選部定期演奏会もあり、まさに文武両道盛りです。

昨年度、三一會(昭和三一年卒)の先輩方から『新応援歌』(作詞・阿部一枝(今春卒))がブレゼンス曲(橋本兼二)が披露されましたが、これを菅原作曲に編曲していただき、酒商・酒東野球定期戦(五月十三日)の九回裏に初披露されました。現代風でリズミカルな曲調で、非常に聴きやすかったです。

東京電気会の二層の発展を祈念いたしました。

東京電気会の二層の発展を祈念いたしました。

東京電気会の二層の発展を祈念いたしました。

東京電気会の二層の発展を祈念いたしました。

東京電気会の二層の発展を祈念いたしました。

東京電気会の二層の発展を祈念いたしました。

心の豊かさを

文化部 野村 靖

好

運

行

開

幕

は

そ

れ

の

よ

う

さ

ま

る

し

く

る

る

る

る

る

る

る

る

る

る

る

る

る

る

る

る

る

る

る

る

る

る

る

る

る

る

る

る

る

る

る

る

る

る

る

る

る

る

る

る

る

る

る

る

る

る

る

る

る

る

る

る

る

る

る

る

る

る

る

る

る

る

る

る

る

る

る

る

る

る

る

る

る

る

る

る

る

る

る

る

る

る

る

る

る

る

る

る

る

る

る

る

る

る

る

る

る

る

る

る

る

る

る

る

る

る

る

る

る

る

る

る

る

る

る

る

る

る

る

る

る</p

昨春まで当会員全員が還暦を迎えた。年一回の総会六月だけでは物足りないとの声が、主として女性会員からあがり、幹事会でいろいろ企画してみたところお陰様でどの集いも盛況でした。

まず総会後の八月に渋谷「まぐろや」にて幹事反省会。終わってみればカラオケがお定まりのコースで十名がおきました。

十月「ふくの会」本部総会に有志出席。十一月は「横浜元町散策と中華街食べ歩きの会」に二十二名が参加し、港の見える丘公園でロマンを語り、神奈川近代文学館の「大岡昇平展」を見学、「海南飯店」で他店に無い中華料理に舌鼓をうち一杯を酌み交わす。久し振りの忘年会(上野)に十六名、初めて開催した新年会(池袋)には三十六名が駆けつけ賑わいました。

四月の桜花見シーズン「鎌倉駅前」にて幹事会が開かれました。

「最初で最後、今生の別れになる」と言って三村昌義(二組)を同窓会に誘つてからもう三年になる。あながちなどしたくなかった。それはたぶん人生のうちでもっとも大切な時期を共有した仲間であるからだ。

卒業して初めての52回生同窓会は平成六年八月十三日に酒田市で開かれた。同窓会名簿幹事の阿部博(6組)、齊藤敏(1組)を中心と小松智弘(3組)、小池佳正(4組)、小松和彦(5組)、大場和博(6組)の各組担当幹事は正

略が大量に余ったことが挙げられる。もう少し安い会費で

足腰が弱っていく年齢になつたものの、わが「東京ふくの会」の集いは衰えそつにあります。幹事冥利の一言に尽

ます。数年前発足した「コ

金の個展・出展には極力

貪るが、足腰が弱っていく年齢になつたものの、わが「東京ふくの会」の集いは衰えそつにあります。幹事冥利の一言に尽

[酒田]
酒田のホットな話題を二つ紹介します。

一つ目は、港町酒田を華麗に彩る風物詩、「夏まつり酒田ヴィーク」です。八月一日の「酒田湊・甚句流し」では、太鼓が響き、沿道の絵灯籠や華やかな踊り、花火大会「星の火まつり」では、夜空と水面に鮮やかな光の華を咲かせます。同じ日の「環日本海国際音楽祭」では、酒田の出身

の白崎映美さんがボーカルをつとめる「上方颶風(シャンシャンターフーン)」が港を舞台上で歌います。

他にも、「みなとぴあ97」や「国府の火まつり」など、見えた十分のイベントが盛りだくさんです。

二つ目は、十月三日に飯森山西地区にオープンする「酒田市美術館」です。広大な敷地を取り囲む自然と眺望が建物と調和し、全体が美術館を構成しています。

洋彌太郎所森田茂氏による彫刻家高橋剛氏、酒田出身の彫刻家石黒光二氏(日展賞)の作品を、砂越駅アラートホームなど町内に設置し、文化の街づくり、技の息づく街づくりをを目指していますが、町内外から高い評価を得ているところがあります。新しい交流

の場「ふれあい市場」の開催は、安くて新鮮と大好評。大勢の人でぎわいました。福祉交流の拠点施設として整備を進める「平田町タワー」を掲げ、魅力づくりを進める平田町は十三体目の彫刻を中心とした展示会を開催しています。

「芸術の香り」平田町「やかまきアートマイセンター」の公開設計コンペを実施したところ、三百点の応募があり、全国から熱い応募があり、企画しました。

第二回民の森「眺海の森」には「ミニゴルフ場」と人工芝の「チビックガレント」が

いままでが寄せられました。

県外からもお客さん方が訪れる

声が響きました。そばには

お手洗い

あります。ぜひ一度来町され

て味わってみてください。

やすらぎアート

あります。

人気のそば屋さん「森の家」

もあります。ぜひ一度来町され

て味わってみてください。

やすらぎアート

あります。

人気のそば屋さん「森の家」

